

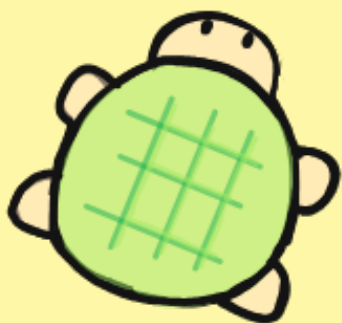


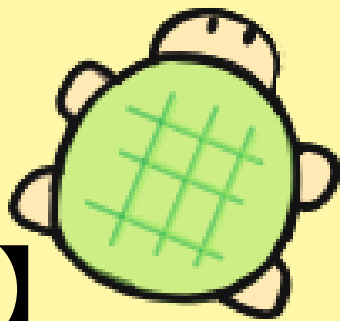
海の環境
を守ろう



Cグループ

パンフレット





【もくじ】

1. そもそもプラスチック、マイクロプラスチックって？生物に与える害とは

2. 人間や生き物に

どんな影響を及ぼすのか

3. 世界と比べてみると

4. 観光客の方、地域の方へ



5. 温暖化による海の影響



プラスチック汚染について ～生物や環境にあたる害～

はじめに

みなさんは、海に流れてくるプラスチックゴミがどうなるか知っていますか？海で太陽の光を浴びたり、波や岩で削れてしまったプラスチックゴミはやがて小さく砕けています。小さくなったプラスチックゴミは「マイクロプラスチック」と呼ばれています。このマイクロプラスチックや、プラスチックのゴミは、やがて海の生物に悪い影響をもたらすのです…。

マイクロプラスチック…大きさが5mm以下となったとても小さいプラスチック。生物に害を与えてしまう事も…

たくさん海に浮遊している。




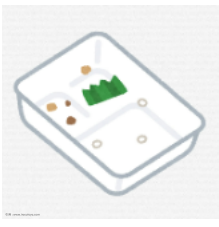




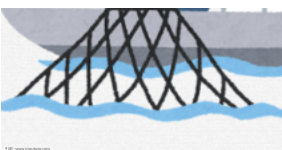

岩海岸の砂浜にあつた
マイクロプラスチック

①プラスチックが使われているものについて

プラスチックが使われている製品はこの世界に数えきれないほどたくさんありますが、代表的なプラスチックの使い方についてみてみましょう。

プラスチックが使われているもの

びっくり

ビニール袋 	容器 	ストロー 	プラスチックスプーン 
たばこ 	お菓子袋 	魚網 	ペットボトル 

など

②生物に与える害

海洋ゴミ、特に先程説明したプラスチックが使われている海洋ゴミは、少なくとも**700種以上**の生物に深刻な悪影響を与え、特にゴーストフィッシング(幽霊漁業)による死傷を引き起こしています。そのため、マイクロプラスチックによる生物蓄積による食物連鎖の影響も懸念されています。

ゴーストフィッシング…漁業者の管理下を離れた漁具等が海中に残ってしまい、海の生物に死亡を引き起こし続ける現象です。また、幽霊漁業とも呼ばれ、流失、放棄された漁具はゴーストギア、幽霊漁具とも呼ばれます。

1. 海洋ゴミが及ぼす主な悪影響と生物の被害

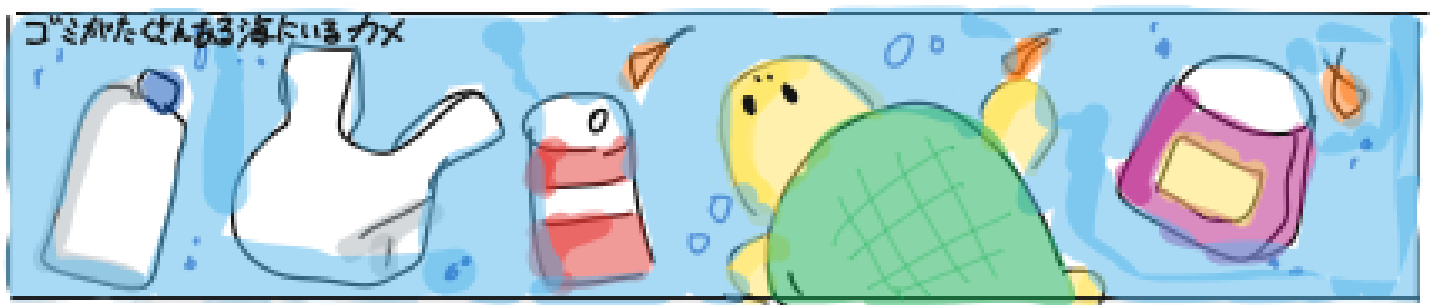
- 誤飲、誤食：ウミガメがビニール袋をクラゲと間違えて食べてしまったり、海鳥がゴム手袋を餌と間違えて丸呑みしたり危険な事が起こります。
- 絡まり(ゴーストギア)：放置された魚網や釣り糸にウミガメ、クジラ、海鳥が絡まり、危険になります。
- 物理的なダメージ：サンゴ礁にゴミが蓄積し、窒息したり、地形を破壊したりします。

2. 主な対象となる海の生物

海洋ゴミが影響を与える海の生物はたくさんいますが、代表的な物を紹介していききたいと思います。

• ウミガメ

プラスチックゴミを誤飲してしまうと大きい影響を与えてしまいます。消化管にプラスチックゴミが詰まってしまったり、栄養失調になってしまいます。



海鳥

海鳥にとって海洋ゴミによる問題は深刻で、**海鳥の約90%**が誤飲しているとされています。餌と間違えて誤飲してしまい、栄養失調や体の中が傷ついてしまう事が多いです。

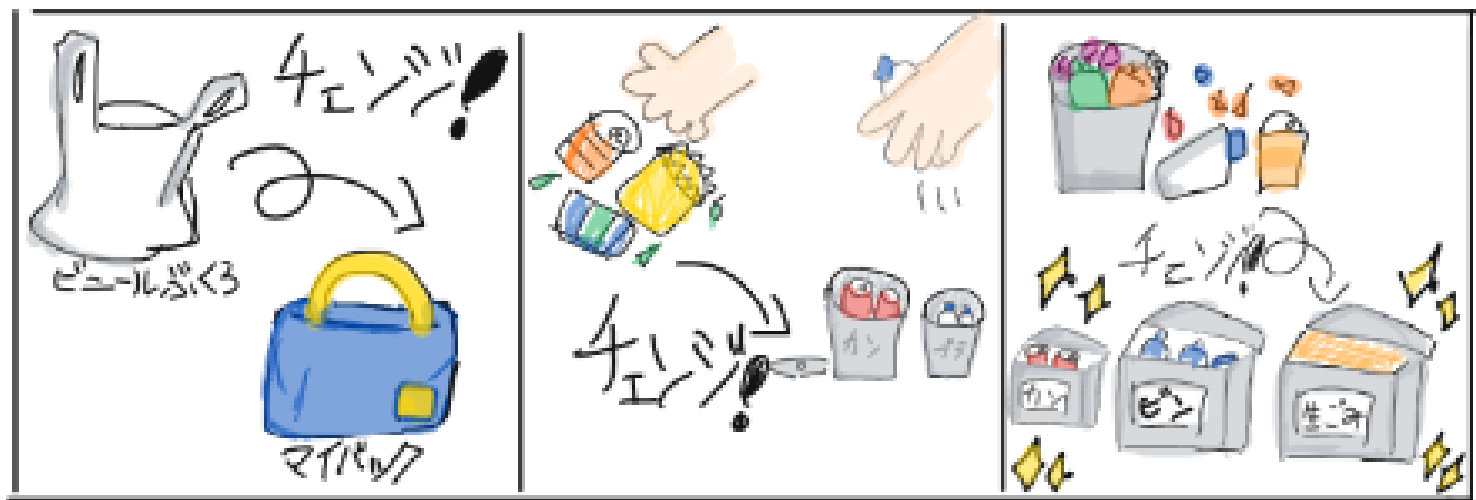


③今私たちができる事

プラスチックの種類やプラスチックゴミは海の生物にたくさんの影響を与える事がわかりました。では、私達に何ができるでしょうか？できることがたくさんあるので、その中のものを紹介したいと思います。

- 使い捨てを減らす:レジ袋やストローなどをなるべく使わないようにしましょう
- エコバッグ、マイバック:エコバッグ、マイバックを買い物などに使うことで、ビニール袋を使わずにすみ、海の生物や私達を守るための一歩に繋がります。
- ポイ捨てをしない:もちろんの事ですが、街や海にゴミを捨ててはいけません。ゴミ箱にきちんと捨てましょう。
- 分別をする:資源としてリサイクルする事で新たなゴミを出すのを防ぐ事ができます。
- ビーチクリーンに参加:実際に海に足を運び、ゴミを拾う活動です。近くのイベントを検索してみましょう。

などなど他にもたくさんありますが、自分の出来る事を探し、できる範囲でやっていきましょう。



まとめ

ここまでご覧いただきありがとうございます。ここではプラスチックで作られている物や、海の生物への影響などを書かせていただきました。しかしここで学んで知る事だけではなく、これらの事を知ったあと何を行動に移すのかが大事だと私は考えます。そしてこうしてみなさんに今の海の環境を少しでも知っていただけたらと思い、パンフレットを作成しました。学んだあと、自分に何ができるか、自分がすべき事はなんなのか、考えて行動する事をこれからも大切にしていきたいです。

ゴミが人間に及ぼす害

私たちの生活で出ているプラスチックゴミ、みなさんは、プラスチックゴミが人間に及ぼす害を知っていますか？



①摂取量について

私たちが身近に摂取する魚介類、飲料水、空気、からマイクロプラスチックが体内に入っています。摂取量は、「1週間で約5g摂取しているおよそクレジットカード1枚分」と言われています。



②危険性について

マイクロプラスチックは、脳や血液、胎盤、肺などに入っているとされています。入ることで病気のリスクを高めるとされています。また赤ちゃんへの影響も懸念されています。

③ どうしてそうなってしまったのか

- 使い捨ての文化が定着してしまった。
- プラスチックの使いすぎでリサイクルが追いついていない。不適切な廃棄により海に流されてしまっている。
- プラスチックは、何年経っても分解されにくい。
(ペットボトル約400年、)
- 化学繊維の洋服を着ることで海に糸くずとして落ちてしまう。
- 大きなゴミが波や紫外線によって小さくなり回収不可能になってしまった。

④ これからの私たちにできること

- 3Rをする (リデュース、リユース、リサイクル)
- 使い捨てのものをできるだけ減らす (マイ箸、マイボトル、マイバッグを使う)
- ゴミ拾いをする
- 環境にやさしい生活をする (ポイ捨てをしない、不法投棄をしないなど)。
- 排水に配慮する。(油を排水口に流さないなど)。

まとめ

私たちがゴミを捨てることで自分たちの体にもいろいろなものを通して害になっていくんだなということがわかりました。これからは、エコバッグを使うなど環境に良い生活をしていきたいなと思いました。

～観光客や地域の方に 伝えたい事～

○観光客の方に伝えたい事～

観光している最中に出たゴミは
「必ず」持ち帰りましょう。

○共通する伝えたい事～

ポイ捨ては「ダメ、
ゼツタイ」

○地域の方に伝えたい事～

ゴミ箱にゴミを捨てる際は必ず、
分別してから捨てましょう。



※イラストは「かわいいフリー素材集
いらすとや」さんから引用しております。

～なぜ、ダメなのか～

なぜ海や陸にゴミを捨てては行けないのか
なぜ海にゴミを捨てては行けないのか

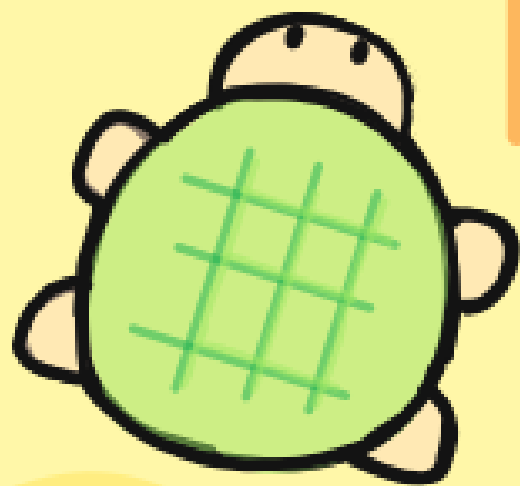
- 魚への悪影響
- 海の汚染（特にプラスチックゴミ）
- 魚が食べたプラスチックを人間が食べてしまう
- ごみの回収、処理に莫大な費用がかかる。



なぜ陸にゴミを捨てては行けないのか

- 陸で捨てたゴミが雨や風で海に流される
- 野生動物への害
- 火災の危険性がある（タバコ）
- 不衛生と悪臭（生ごみを捨てると害虫や悪臭を放つから）

これを踏まえて、地域の方も、観光客もゴミを極力出さないようにする。



ごらん丁魚
ありがとう
ございました。

